

【第1回】 **11** 月 **9** 日 (日) 午後1:30~4:00 ぴゅあ総合・中研修室

## 「差別をなくして美しき生涯をめざそう!―戦後女性教師の待遇と改善に挑んで」

師:上田京子(元山教組女性部長、元日教組女性部長、元山梨県退職・現職女性教職員の会会長、全国退職女性教職員の会会長) 講

古屋 敏子 (元山教組女性部長、山梨県退職・現職女性教職員の会会長、山梨県女性団体協議会副会長)

コーディネーター・吉原五鈴子 (元県立男女共同参画推進センター館長・プロジェクトメンバー)

「教師」は、明治時代に女性が手に入れた新しい職業の一つです。山梨でも、女子の就学率の高まりと共に その数は増えていきましたが、その社会的な地位や待遇はどのようなものだったでしょうか? 特に、戦後 の女性教師たちが、自分たちの状況をどうとらえ、何を課題として改善に取り組んできたか、先頭となって 活躍されたお二人にお話しいただきます。

【第2回】 11 月 29 日 (土) 午後1:30~4:30 ぴゅあ総合・小研修室

## 基調講演「等身大の女性像を描くことの意味―「樺美智子」の検証を例に」

師:江刺昭子(女性史研究家)

1960年6月15日、日米安保条約の改定に反対する国会デモの中で、22歳の東大生樺美智子が死亡しました。 「60年安保」ただ一人の死者でした。そのため彼女は偶像化されてしまったのではないか――江刺昭子さん は『樺美智子 聖少女伝説』(2010年) にその死の真相や実像をまとめました。この作業を事例として、講師 自身の女性史との出会いや方法論、現在の私たちにとっての意味などを語っていただきます。

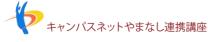
## シンポジウム「地域女性史研究の意義と課題 ―私たちの活動をふり返って」

シンポジスト: 亀井喜美子(さがみ女性史研究会さねさし)

山中淑子(やまなし地域女性史「聞き書き」プロジェクト)

コメンテーター: 江刺昭子(女性史研究家)

コーディネーター: 池田政子(山梨県立大学名誉教授・プロジェクト代表)



山梨県立男女共同参画推進センター

TEL:055-235-4171 FAX:055-235-1077 〒400-0862 甲府市朝気 1-2-2 danjo-c@yamanashi-bunka.or.jp



